



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 新宅 祐太郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長

(氏名) 桑井 哲也

TEL 03-3217-6550

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	95,630	17.7	17,378	9.0	16,868	34.4	9,772	11.1
23年3月期第1四半期	81,234	4.9	15,946	△3.2	12,554	△25.9	8,792	△18.7

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 5,914百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △2,292百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	51.46	—
23年3月期第1四半期	46.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	693,587	337,950	48.7	1,778.47
23年3月期	420,037	335,456	79.8	1,765.32

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 337,696百万円 23年3月期 335,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

23年3月期期末配当金の内訳: 記念配当2円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	191,000	16.5	32,700	0.0	31,500	11.8	18,500	0.7	97.43
通期	390,000	18.8	67,000	7.0	65,000	14.2	38,500	19.1	202.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

年間想定レート: 1ドル=80円、1ユーロ=113円
のれんの償却を含む。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 3社 (社名) CaridianBCT Holding Corp、 CaridianBCT Inc.、 Gambro, Inc. 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	210,876,260 株	23年3月期	210,876,260 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	20,995,497 株	23年3月期	20,994,926 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	189,880,986 株	23年3月期1Q	189,894,731 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	10
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 重要な後発事象	12
4. 補足情報	13
地域別収支	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）における世界経済は、中国をはじめ新興国の景気拡大に牽引され、緩やかながらも回復傾向が続きました。一方、国内では3月に発生した東日本大震災が日本経済全体に大きな打撃を与え、さらに円高が進行するなど、当社グループにとって、大変厳しい経済環境となりました。

当社グループは震災により、生産活動への影響が危ぶまれましたが、復興推進に全力で取り組んだ結果、4月初旬には工場操業を震災前のレベルにまで回復させることができました。しかしながら、提携先企業の被災や計画停電による工場稼働率低下により、輸液剤などホスピタル事業の一部商品で供給が不足するなど、販売面で影響が残りしました。

世界の医療市場に目を向けると、新興国では経済発展に伴い医療インフラの整備が急速に進み、医療機器の需要が拡大するなど高い市場成長が続いております。また、先進国では、医療費抑制が強化される中、治療成績や患者さんのQOL（生活の質）向上に加え、「医療経済性」に対するニーズがより高まってまいりました。このように、大きく変貌するグローバル市場では、当社グループの強みを生かせる新たな成長機会が広がっております。

これらを踏まえ、当社グループは、新経営体制のもとG P 1 “1 trillion Global Presence” 「2020年までに売上高1兆円を達成し、世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、2012年3月期を初年度とする3か年の中期経営計画「G P 1—2013飛躍的成長に向けて」をスタートしました。主な成長戦略は、グローバルでの開発強化により内部成長力を高めることに加え、2011年4月に買収したCaridianBCT社との統合により、両社の相互補完的な強みを最大限に生かし、飛躍的な成長を目指すことです。また同時に、リスク対策、収益性の改善、財務など体質強化も図ってまいります。これらの戦略を着実に実行することで、持続的に年率二桁以上の成長を実現してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は次の通りです。

<売上高>

売上高は前年同期比17.7%増の956億円となりました。今期、買収を完了したCaridianBCT社とHarvest Technologies社を除く既存事業（以下、既存事業）では、国内で前年同期比4.0%、海外は現地通貨ベースで前年同期比7.5%の伸長となりましたが、為替の影響を受け、前年同期比2.6%増の834億円となりました。

地域別

（単位：百万円）

地 域	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
日 本	42,544	44,254	4.0	4.0
欧 州	13,956	15,555	11.5	12.0
米 州	14,763	13,326	△9.7	1.6
アジア他	9,968	10,234	2.7	10.1
海 外 計	38,689	39,115	1.1	7.5
合 計	81,234	83,370	2.6	5.7

（注）CaridianBCT社、Harvest社除く

国内では、震災の影響により一時供給が不足した輸液剤などホスピタル商品が苦戦する一方で、5月に販売を開始した薬剤溶出型冠動脈ステント「Nobori」（ノボリ）が順調にシェアを獲得し、売上を伸ばしました。これらの結果、国内売上高は前年同期比4.0%増の443億円となりました。

海外では、カテーテルシステムが売上を牽引しました。また、中国では現地通貨ベースで前年同期比32.4%の伸長を達成するなど、全体を押し上げましたが、為替の影響を大きく受け、海外売上高は前年同期比1.1%増の391億円となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
売上高	81,234	83,370	2.6	5.7
売上総利益	42,336	43,012	1.6	6.2
営業利益	15,946	16,964	6.4	13.1
経常利益	12,554	16,405	30.7	—
四半期純利益	8,792	10,389	18.2	—

(注) CaridianBCT社、Harvest社除く

<売上総利益>

売上総利益は前年同期比20.1%増の508億円となりました。既存事業では為替の影響や価格引下げの影響などマイナス要因もありましたが、高収益品へのシフトならびに増産効果などにより前年同期比1.6%増の430億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、企業結合による新規のれん償却などの影響があったものの、前年同期比9.0%増の174億円となりました。既存事業では、一般管理費の効率運用と研究開発費のコントロールなどにより、前年同期比6.4%増の170億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、買収に伴う短期借入金増加による支払利息の影響があったものの、前年同期比34.4%増の169億円となりました。既存事業でも同様の影響がありながら、前年同期比30.7%増の164億円となりました。

<四半期純利益>

四半期純利益は、のれん償却の税負担が影響し、前年同期比11.1%増の98億円にとどまりました。既存事業では、前年同期比18.2%増の104億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下の通りです。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
ホスピタル事業	売上高	37,120	36,498	△1.7	△0.7
	(国内)	29,753	29,117	△2.1	△2.1
	(海外)	7,367	7,381	0.2	4.9
心臓血管領域事業	売上高	36,513	39,635	8.6	13.8
	(国内)	9,562	11,923	24.7	24.7
	(海外)	26,951	27,712	2.8	9.9
血液システム事業	売上高	6,455	6,103	△5.5	△2.0
	(国内)	2,588	2,338	△9.7	△9.7
	(海外)	3,866	3,765	△2.6	3.2
ヘルスケア事業	売上高	803	1,133	41.0	42.5
	(国内)	641	875	36.5	36.5
	(海外)	162	257	58.5	66.2

(注) CaridianBCT社、Harvest社除く

<ホスピタル事業>

国内では、慢性期市場での主力商品である半固形栄養食品や、D&D（ドラッグ&デバイス）分野での受託ビジネスが売上増に寄与しました。一方、震災の影響により輸液剤をはじめ一部の商品で売上が減少し、前年同期比でマイナスとなりました。

海外では、中南米地域で輸液ポンプやシリンジなどが好調に推移し、売上を伸ばしました。

その結果、ホスピタル事業の売上高は前年同期比1.7%減の365億円となりました。

<心臓血管領域事業>

国内では、5月に販売を開始した薬剤溶出型冠動脈ステント「Nobori」（ノボリ）が順調にシェアを獲得したほか、血管内超音波診断用カテーテル「ViewIT」（ビューイット）が好調に推移し売上を伸ばしました。

海外でも既に欧州、アジア、中南米で販売している「Nobori」（ノボリ）が順調にシェアを拡大し売上を伸ばしたほか、米州ではTR I（手首の血管から冠動脈にアプローチするカテーテル手技）の普及によりカテーテルシステムが順調に推移し売上を牽引しました。

その結果、既存事業における心臓血管領域事業の売上高は前年同期比8.6%増の396億円となりました。

<血液システム事業>

国内では、血液バッグの売上減により、前年同期比9.7%の減少となりました。

海外では、欧州で血液自動製剤システム「TACSI」（タクシー）が好調に売上を伸ばしました。

その結果、既存事業における血液システム事業の売上高は前年同期比5.5%減の61億円となりました。

<ヘルスケア事業>

国内では、一昨年の新型インフルエンザ流行による電子体温計需要増の反動は一巡し、売上高は前年同期比41.0%増の11億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ2,735億円増加して6,936億円となりました。流動資産は145億円増加して2,510億円となりました。受取手形および売掛金が76億円、たな卸資産が84億円増加となりました。

固定資産は2,590億円増加して4,426億円となりました。有形固定資産は124億円増加、無形固定資産は2,468億円増加、投資その他の資産は1億円減少となりました。

(負債)

負債の部は2,711億円増加して3,556億円となりました。

流動負債は2,238億円増加して3,026億円となりました。短期借入金が増加しております。

固定負債は473億円増加して530億円となりました。繰延税金負債が増加しております。

(純資産)

純資産の部は、25億円増加して3,380億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ31.1ポイント減少し、48.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月に買収を完了した、CaridianBCT社とHarvest Technologies社を連結業績予想に織り込むとともに、企業結合に伴う会計処理や新商品が業績に与える影響など、通期予測に目処がついてきたこと等の理由により、平成23年5月11日に公表しました「平成24年3月期連結業績予想」を以下の通り修正いたします。

(単位：百万円)

	従来予想	修正予想	増減額	前年比 (%)
売上高	332,000	390,000	58,000	18.8
営業利益	65,000	67,000	2,000	7.0
営業利益率	19.6%	17.2%	—	—
のれん償却前営業利益	66,500	74,600	8,100	16.2
のれん償却前営業利益率	20.0%	19.1%	—	—
経常利益	63,000	65,000	2,000	14.2
当期純利益	40,000	38,500	△1,500	19.1
当期純利益率	12.0%	9.9%	—	—
のれん償却前当期純利益	41,500	46,100	4,600	35.9
のれん償却前当期純利益率	12.5%	11.8%	—	—

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期累計期間より、当社がCaridianBCT社の株式を100%取得したことにより、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却の方法について、平成10年4月1日以降取得の建物（附属設備を除く）及びリース資産を除き、定率法を採用しておりましたが、当連結会計年度より定額法に変更しています。

当社は、2009年度より愛鷹工場、富士宮工場及び甲府工場において、新規投資を進めており、その主な内容は、愛鷹工場の新棟と生産設備、富士宮工場の新棟と生産整備及び、甲府工場の生産設備、それに関わる建物附属設備の拡張であります。

上記新規生産設備は、2009年度より随時稼働を開始しており、本格的な稼働は2011年度であることから、当該新規生産設備稼働による影響が大きく発生する当連結会計年度において減価償却方法の検討を行いました。当該生産設備、生産予定の各製品に類似した製品に関わる生産高について過年度推移を確認し、今後の生産見通しを確認しました。

その結果、各類似製品の生産高は長期安定的に推移しており、新規生産品についてもその計画生産高は安定的に増加すると予定しています。

一方、既存生産設備の工場ごとに生産設備全体の生産高及び修繕費について過年度の推移を確認するとともに、今後の見通しを検討した結果、生産高は長期安定的に推移し、生産設備の修繕費は長期平準的に発生する見込みであることが確認されました。

また、全ての海外生産拠点では定額法を採用しており、2011年4月のCaridianBCT社の買収により、2011年度において海外生産設備の重要性が増加しております。当該状況を踏まえ、当連結会計年度において、当社グループの有形固定資産の実態をより適切に反映するため、当社の生産設備（機械及び装置、工具、器具及び備品）と生産拠点として使用している建物、建物附属設備及び構築物について定額法を採用することが適切であると判断しました。

なお、定率法を採用していた国内連結子会社の生産設備、当社グループの生産に関連しない有形固定資産については、その金額的重要性を鑑みて同様に定額法へ変更しました。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、売上総利益は442百万円、営業利益は635百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ635百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,794	83,295
受取手形及び売掛金	76,480	84,125
たな卸資産	57,673	66,043
繰延税金資産	7,797	10,510
デリバティブ債権	6,084	—
その他	5,406	7,997
貸倒引当金	△726	△946
流動資産合計	236,510	251,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	45,052	47,742
機械装置及び運搬具(純額)	29,861	34,959
土地	20,227	21,279
リース資産(純額)	950	1,097
建設仮勘定	10,442	13,464
その他(純額)	6,524	6,884
有形固定資産合計	113,059	125,428
無形固定資産		
のれん	20,191	141,579
その他	6,537	131,920
無形固定資産合計	26,728	273,499
投資その他の資産		
投資有価証券	28,895	31,452
繰延税金資産	8,136	6,375
その他	6,706	5,806
投資その他の資産合計	43,739	43,634
固定資産合計	183,527	442,561
資産合計	420,037	693,587

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,711	32,197
短期借入金	—	220,000
リース債務	294	322
未払法人税等	6,297	5,045
繰延税金負債	123	138
賞与引当金	5,001	2,681
役員賞与引当金	145	36
災害損失引当金	351	138
設備関係支払手形及び未払金	5,749	7,495
資産除去債務	560	980
その他	29,611	33,590
流動負債合計	78,846	302,626
固定負債		
リース債務	636	752
繰延税金負債	378	45,474
退職給付引当金	1,082	1,146
役員退職慰労引当金	586	202
資産除去債務	991	571
その他	2,060	4,862
固定負債合計	5,734	53,010
負債合計	84,581	355,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	59,030	59,030
利益剰余金	342,965	349,319
自己株式	△76,879	△76,882
株主資本合計	363,832	370,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,919	263
繰延ヘッジ損益	3,611	△0
為替換算調整勘定	△30,322	△32,749
その他の包括利益累計額合計	△28,630	△32,487
少数株主持分	254	253
純資産合計	335,456	337,950
負債純資産合計	420,037	693,587

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	81,234	95,630
売上原価	38,898	44,787
売上総利益	42,336	50,842
販売費及び一般管理費	26,389	33,463
営業利益	15,946	17,378
営業外収益		
受取利息	67	86
受取配当金	150	154
受取ロイヤリティー	38	37
持分法による投資利益	34	33
その他	76	91
営業外収益合計	367	402
営業外費用		
支払利息	28	161
売上割引	144	146
為替差損	3,439	451
たな卸資産処分損	35	53
その他	111	99
営業外費用合計	3,759	913
経常利益	12,554	16,868
特別利益		
固定資産売却益	2	12
貸倒引当金戻入額	0	—
災害損失戻入益	—	156
退職給付信託設定益	494	—
補助金収入	—	227
特別利益合計	497	395
特別損失		
固定資産処分損	3	4
投資有価証券評価損	—	1,112
役員退職慰労金	15	—
特別損失合計	19	1,116
税金等調整前四半期純利益	13,031	16,147
法人税、住民税及び事業税	2,666	5,751
法人税等調整額	1,552	613
法人税等合計	4,219	6,365
少数株主損益調整前四半期純利益	8,812	9,781
少数株主利益	19	9
四半期純利益	8,792	9,772

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,812	9,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,699	2,183
繰延ヘッジ損益	—	△3,612
為替換算調整勘定	△6,404	△2,437
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△0
その他の包括利益合計	△11,105	△3,867
四半期包括利益	△2,292	5,914
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,288	5,914
少数株主に係る四半期包括利益	△3	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管 領域事業	輸血関連 事業	ヘルスケア 事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,077	36,447	6,443	802	80,771	463	81,234
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	37,077	36,447	6,443	802	80,771	463	81,234
セグメント利益又は損 失(△)	6,337	9,598	813	△373	16,375	△429	15,946

(注) 1. セグメント利益の調整額△429百万円には、たな卸資産の調整額△506百万円、その他77百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管 領域事業	血液シス テム事業	ヘルスケア 事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,499	39,955	18,042	1,133	95,630	—	95,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	36,499	39,955	18,042	1,133	95,630	—	95,630
セグメント利益又は損 失(△)	7,877	9,629	1,561	△63	19,004	△1,625	17,378

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,625百万円には、たな卸資産の調整額△2,712百万円、その他1,086百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結累計期間より、従来の「輸血関連事業」セグメントの名称を「血液システム事業」に変更しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「血液システム事業」セグメントにおいてCaridianBCT社を買収しました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては124,427百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

地域別収支

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	日本	海外計	欧州	米州	中国	アジア他	連結
売上高	42,545	38,688	13,788	15,782	2,125	6,992	81,234
営業利益	8,843	7,103	2,676	2,227	644	1,555	15,946

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

（単位：百万円）

	日本	海外計	欧州	米州	中国	アジア他	連結
売上高	44,276	51,353	15,035	26,852	2,409	7,056	95,630
営業利益	9,326	8,051	2,683	3,745	654	967	17,378